

はちまんたい議会だより

ギカイのひろば

No. 81

2025年(令和7年)
10月23日



仲良し15人 観光大使！

— 柏台保育所 —

主な内容

- 特集記事…………… P 2
- 9月定例会…………… P 4
- 6年度決算…………… P 7
- 一般質問(10人)…………… P 10



議長（6代目）
くどう りゅういち
工藤 隆一 さん（72歳）
田頭地区 当選回数：3回（現職）
問 これからの市議会をどのように発展させていきたいか。

答 人口減少に伴って議員定数が減少している中、八幡平市全域のそれぞれの地域が抱える課題に耳を傾け、子どもや若者が将来に希望を持てるまち、そして市民一人一人が幸せを実感できるまちを目指して、議会は行政に対する監視機能を果たしつつ、市政の発展に努めてまいります。



最多当選回数議員
たかはし みつゆき
高橋 光幸 さん（77歳）
寄木地区 当選回数：9回（現職）
問 20年前の議会と今の議会で変わったことは。

答 合併から20年がたち感じるの、若い人が選挙に出てこないことです。新しい考え方を持った若い議員が必要だと思います。若い議員が知識と経験を積み、市当局に対して、しっかりとした意見を言えるようになると、市当局との緊張感のある議論が深まり、市の発展につながると思います。



改選後の初代議会広報特別委員長
たかはし まもる
高橋 守 さん（63歳）
平笠地区 当選回数：5回（元職）
問 市議会だより第1号の発行はどう工夫されたのか。

答 それぞれ異なる環境を背景に持つ議員たちが、一つの市議会として活動を始めました。当時は、原稿に字数制限がなかったこともあり、議会の広報においても公平性を意識しながら、市民の皆さまに市政について関心を持って、読んでいただけるよう内容の表現に工夫を凝らしました。



議会広聴広報常任委員長
くまざわ ひろし
熊澤 博 さん（76歳）
寺田地区 当選回数：7回（現職）
問 今後の議会広聴広報常任委員会の役割と使命は。

答 議会広聴広報常任委員会は市民の声を聞き、議会や行政の情報を分かりやすく伝える役割を担っています。そのために議員と語る会やギカイのひろば、インターネットでの情報発信などがあります。今後は、市民の声を広報誌に反映し、信頼される議会だよりを目指していきます。



改選後の初代議長
せがわ たてのり
瀬川 健則 さん（78歳）
田頭地区 当選回数：4回（元職）
問 改選後初代議長としての苦労と議会運営で心掛けたことは。

答 3町村が持っている特徴を生かし、伝統や文化を継承させながら、市として一つになるにはどうすればいいかを考えて、議会を運営しました。特に、地域の利害や私的な考えを押し付けることなく、譲れるところは譲り、お互いの良いところを尊重できるよう心掛けました。



合併10年目の議長（3代目）
くどう なおみち
工藤 直道 さん（67歳）
大更地区 当選回数：5回（現職）
問 合併10年の節目に3町村の一体感をどう高めていったのか。

答 合併後の10年間は、議員もそれぞれの出身地域の課題が中心でしたが、合併から10年が経過し、市全体の課題を議員全員で考えられるようになってきました。前議長を手本にしながら、各議員との対話を重視し、是々非々で対応することを心掛けて議会運営を行いました。



最年少当選議員（当時42歳）
くどう つよし
工藤 剛 さん（62歳）
大更地区 当選回数：5回（元職）
問 最年少議員として初めての議会はどのようなものでしたか。

答 地域の後押しを受けて当選させていただいたため、最年少であることを意識していませんでした。しかし、4回目の選挙でも最年少だったときには、危機感を覚えました。必死で勉強し地域の要望を提言して「ありがとう」と感謝された時に議員をやっている本当によかったと感じました。



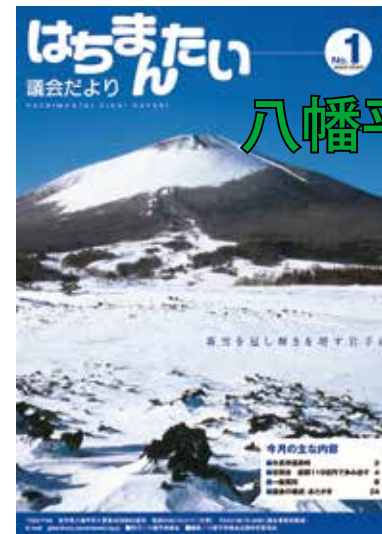
初代議会事務局長
いとう ふみあき
伊藤 文明 さん（77歳）
平館地区 旧西根町役場出身
問 初代議会事務局長として議員55人との思い出は。

答 当時の旧西根町役場の議場には、55人の議員は入りませんでした。そのため、現在の西根地区市民センターを議場として使いました。特に気を付けていたのは、安代、松尾、西根の各地区の議員と公平にコミュニケーションをとることでした。今となれば楽しい思い出です。



知ってほしいこと！ お知らせしたいこと！

八幡平市議会 20年を振り返って



はちまんたい議会だより No.1
(2005年12月22日 発行)



はちまんたい議会だより No.41
(2015年11月19日 発行)



はちまんたい議会だより No.81
(2025年10月23日 発行)

市民の声をまちづくりに反映させる「市議会」は、誕生から20年という大きな節目を迎えました。これまで市議会を支えてくださった皆さまの中から、テーマごとにインタビューを行い、それぞれの思いを語っていただいています。議会をより身近に感じていただくきっかけとして、ぜひご覧ください。



旧3町村の議会議員55人での初議会（2005年9月 臨時会）



広報はちまんたいNo.17（2006年6月1日 発行）



はちまんたい議会だより臨時号（2014年6月5日 発行）



はちまんたい議会だより臨時号（2022年6月9日 発行）

●会期 8月25日～9月12日(19日間)

9月定例会

八幡平市議会議員定数条例の一部を改正など全議案を可決



9月定例会議案採決（発議案第1号）

今回は
報告 3件
市長提出議案 24件
議員提出議案 1件

【議案第1号】人権擁護委員候補者の推薦に
関し意見を求めることについて

人権擁護委員の 推薦を適任と判断

八幡平市の区域における人権擁護委員である伊藤信子氏は、令和7年12月31日をもって任期が満了するため、再び同人を推薦しようとするものです。

【議案第2号】人権擁護委員候補者の推薦に
関し意見を求めることについて

人権擁護委員の 推薦を適任と判断

八幡平市の区域における人権擁護委員である藤本貢氏は、令和7年12月31日をもって任期が満了するため、再び同人を推薦しようとするものです。

【議案第3号】教育委員会の委員の任命
に関し同意を求めることについて

教育委員の再任命 全会一致で同意

教育委員会の委員である松田育

恵氏は、令和7年11月14日をもって任期が満了するため、再び同人を任命しようとするものです。

【議案第4号】監査委員の選任に関し同意を
求めることについて

監査委員の再選任 全会一致で同意

識見を有する者のうちから選任される監査委員である村山巧氏は、令和7年10月26日をもって任期が満了するため、再び同人を選任しようとするものです。

【発議案第1号】八幡平市議会議員定数
条例の一部を改正する条例

議員定数1人減の 17人に全議員賛成

来年4月30日の任期満了に伴い実施される次期市議会議員選挙から、議員定数を現在の18人から17人に改正するものです。7月に実施されたパブリックコメント（市民意見の募集）などを参考に検討し、最終的に全議員の賛成により、市議会議員定数条例の一部が改正されることが決定しました。

【議案第5号】第3次八幡平市総合計画
基本構想の策定に関し議決を求めること
について

第3次市総合計画 基本構想を可決

平成17年9月1日の八幡平市誕生後、18年度に27年度までの期間とする第1次八幡平市総合計画を、27年度に第2次八幡平市総合計画を策定し、「農（みのり）と輝（ひかり）の大地」を将来像に掲げ、まちづくりを推進してきました。令和7年度は、第2次八幡平市総合計画の期間が満了することから、これまでの市の20年の歩みを振り返り、新たな市勢発展のため、第3次八幡平市総合計画を策定し、8年度から施行するものです。

【議案第10号】八幡平市交流複合施設に
係る指定管理者の指定について

市交流複合施設の 指定管理者を決定

八幡平市交流複合施設の管理を行う指定管理者として、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社・特定非営利活動法人矢巾ゆ

りかで共同事業体を指定しようとする
ものです。

市内の団体を育成し、委託
できる体制を構築する方法
もあつたと考える。なぜ、
市内の団体に限定したプロ
ポーザル方式を検討しな
かったのか。

市内の団体を排除したわけ
ではなく、情報提供などは
行っていた。結果として、全
国的に実績がある2社（子
育て分野では矢巾の実績あ
る団体）が応募となった。

来年度から実施予定のイベ
ント経費は、指定管理料に
含まれるのか。

基本的なイベント事業は、
指定管理料に含まれる。一
部、ハチマルシェのような
市主催のイベントを協働で
実施する際は、市の持ち出
しもあり得る。

図書館の利用目標が、2万
人は低すぎるのでは。

コロナ禍前の平成30年の利
用実績を目標値として設定
した。今後、指定管理者と
ともに利用者の増加に向け
た取り組みを強化していく。

【議案第11号】令和7年度八幡平市一般
会計補正予算（第3号）

6億5880万円 増額補正予算可決

歳入、歳出それぞれ6億5880万1千円を増額し、総額で218億6988万1千円とするもので主な歳出は次のとおりです。

▼財政調整基金積立金

3億4566万9千円（増額）

▼大更駅前拠点施設整備事業

2548万8千円（増額）

▼高齢者等温泉館管理運営事業

5819万円（増額）

Q（仮称）大更駅前顔づくり施
設工事監理業務委託料1千
万円および八幡平市交流複
合施設開業準備業務委託料

1409万円の内容は。

A 工事監理業務は、工期の延
長に伴い監理期間が延びた
ため、委託料を増額するも
のである。開業準備業務に
ついては、予約管理システ
ムの導入やプレオープン準
備、清掃業務などを委託す
るものである。

Q なぜ工期が延びたのか。設
計に多額の費用をかけたに
も関わらず、遅延するのは
問題では。

A 現場での転石の発生対応や
社会情勢の影響により工事
に必要な備品の入手が困難
となったことなどが挙げら
れる。外部環境や施工業者
施工監理業者の責に帰すこ
とのできない事由であると
認識している。

Q 工期の遅れは事前に予測で
きなかったのか。

A 当初は遅延を吸収できる見
込みだったが、結果的に複
数の要因で工期が伸びた。

Q 工期延長によって来年4月
の開業に間に合うのか。

A 建物 は年内に完成する予定
である。備品搬入や準備を
並行し、関係機関と連携を
取りながら、来年4月の開
業を目指して進めていく。

Q 綿帽子温泉館のポンプ引き
上げ設置工事の内容は。

A 工事の内容は、壊れたポン
プ・管の引き上げや新設ポ
ンプ・管の設置、井戸のク
リーニング、建屋の再設置
である。

6年度
決算

一般会計・特別会計合計で
225億306万円を支出

税金がどのように使われたのか—令和6年度の決算は、8月29日、9月1・2・3・4・5・8・10日の8日間、決算特別委員会を開催し慎重に審査しました。同委員会では一般会計と2特別会計、3企業会計を原案のとおり認定すべきものと決定。第3回定例会最終日の9月12日に本会議で全ての決算が認定されました。

令和6年度各会計の決算額					
会 計 名		歳入(収入)		歳出(支出)	
一般会計		198億1,643万6,225円		191億2,510万 59円	
特別会計	国民健康保険	30億3,837万4,125円		30億1,055万6,690円	
	後期高齢者医療	3億6,851万6,762円		3億6,740万7,080円	
企業会計	水道事業	収益的	5億3,827万1,048円	5億1,138万 933円	
		資本的	1億9,483万9,000円	4億9,776万8,550円	
	下水道事業	収益的	11億2,062万2,519円	10億 879万 988円	
		資本的	3億8,741万3,089円	8億4,663万2,272円	
	病院事業	収益的	16億7,374万6,257円	17億2,377万6,258円	
		資本的	2億4,920万8,000円	2億7,815万7,616円	

↓ ↓ ↓

A 岩手山の立ち入り禁止の状況について、その後も県において数回会議が開催されているようであるが、現在の状況を伺う。県によると、噴火警戒レベル2の状態が継続していることを踏まえ、状況に大きな変化がない場合には、一部規制を緩和してもよいのではないかという方向で、検討が進められている。また、東側の登山道は、来年7月に規制緩和をしたいというところでスケジュールは示されている。

Q 【委員会の意見】観光面への影響を考え、地元の観光事業者の声を岩手山火山防災協議会へしっかりと届けていただきたい。

A LED化に関しては、公共施設も含め、喫緊の課題であると認識している。蛍光灯が使用できなくなる時期が間近に迫っており、各地区からは防犯灯に関する要望も寄せられていることから、何らかの対策を講じる必要があると考えている。

Q 【委員会の意見】LED化の期限が迫っていることから、予算措置のうえ早急に対応すべきである。

A それぞれの自治会が管理している防犯灯のLED化についても、一括交付金の予算内では対応が困難になってきており、状況は変化しつつある。こうした現状を踏まえ、予算の見直しについてどのように考えているのか。

討論 (令和6年度八幡平市一般会計歳入歳出決算認定について)

【反対討論】 齊藤 隆雄 議員(日本共産党)

1つ目は、大更駅前顔つくり施設の建設費として約4億5千万円が計上され、総事業費が22億円余りとされた点である。図書館利用者見込みが年間2万人と現在と大きく変わらないことなど、必要性に疑問があり、図書館新設には反対である。2つ目は、旧安代老人憩の家屋内ゲートボール場の解体予算が計上された点である。屋内ゲートボール場の継続利用を求める署名は100名を超えており、それを無視するかたちで予算が計上された。施設には耐用年数の余地もあり、利用価値があると判断する。3つ目は、ごみ処理の在り方についてである。焼却中心の処理から、分別・資

源化へと転換する必要がある。令和14年からは広域ごみ処理が開始され、処理負担額はごみの量に比例するため、早期の減量化が求められる。生ごみの資源化は本市における最大の課題である。最後に、子育て・教育支援、負担軽減策、高齢者支援などの施策が、県内他自治体で実施されていることから、本市においても同様の対応が必要である。市の財政調整基金は22億7525万円であり、標準財政規模の10%を大きく上回る19%に相当する。これらの財源は、ごみ処理への対応、物価高騰対策、人口減少への対応、子育て支援、若者から高齢者までが定住できる地域づくりの実現に活用すべきであると考え、反対討論とする。

【賛成討論】 井上 辰男 議員(八起会)

最初に財政状況であるが、実質収支額は6億2400万円の黒字であり、自主財源の基盤である市税が5千万円の増収となっている。これは収納率の向上が図られたものと評価する。また、実質公債比率13・8%、将来負担比率21・6%は前年度と比較して改善されている。次に、事業実績を見ると、市の将来像である「農と輝の大地」の一翼を担う農林業では、市単独事業として地域農業の新たな担い手となる親元就農者への支援や、再生可能エネルギーの推進として「株」はちまんだいジオパワー」を設立し、地熱エネルギーの地産地消・脱炭素化ならびに地域経済活性化の好循環

を生み出すきっかけを作り、脱炭素社会を大きく前進させた。また、子育て支援として、妊娠中に10万円を58人に、出産後に50万円を67人に支給し、子育て世帯の経済的負担軽減を図ったほか、高齢者福祉では、高齢者健康教室などの普及・啓発を推進し、高齢者が生きがいを持って健康で安心して暮らし続けられる環境を整備した。このように、多様化する市民の要望に真摯に向き合い、取り組んだ結果であり、その努力を高く評価する。引き続き、市民が安心してゆとりを持って暮らせる持続可能なまちづくりのため、財政状況と重要度を十分に考慮しながら、市政の均衡ある発展を期待して、賛成討論とする。

令和7年第3回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果																			議決結果
議案名		1 外山 一則(八起会)	2 田村 正元(八起会)	3 齊藤 隆雄(日本共産党)	4 関 治人(八起会)	5 羽沢 寿隆(八起会)	6 工藤 多弘(松西会)	7 勝又 安正(八起会)	8 北口 功(無会派)	9 欠 番	10 熊澤 博(自由クラブ)	11 立花 安文(八起会)	12 渡辺 義光(市民クラブ)	13 工藤 直道(自由クラブ)	14 古川 津好(松西会)	15 高橋 悦郎(日本共産党)	16 高橋 光幸(市民クラブ)	17 井上 辰男(八起会)	
議案第10号	八幡平市交流複合施設に係る指定管理者の指定について	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	原案可決
議案第11号	令和7年度八幡平市一般会計補正予算(第3号)	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	原案可決
議案第17号	令和6年度八幡平市一般会計歳入歳出決算認定について	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	原案認定

Q 地域みらい留学に関する活動内容と成果について伺う。また、本制度を活用して入学している生徒がいるかも併せて伺う。

A インターネットでの説明や東京での実際のPR活動を行ったところ、かなりの関心を持っていただいたようである。しかし、保護者や生徒は寮の環境について重点的に考えており、現時点で留学者の実績はない。

Q 寮の問題が非常に大きく、寮の整備が重要な論点となっていると考える。今後、寮の検証を進める見込みはあるか。

A 寮の整備には時間がかかるため、現在は一戸建ての借り上げが可能かどうか、地元の不動産会社と協議を重ねている。

Q 【委員会の意見】地域みらい留学については、寮を含めた環境整備を早急に進めるべきである。



地域みらい留学の説明会の様子(東京都内)

Q 平館高校の家政科の定員募集停止の問題について伺う。定員募集復活の可能性はあるのか。また、普通科についても同様の話はあるのか。

A 受験希望の生徒は昨年度より多いと見受けられる。しかし、今回の発表により家政科を止めようかと考える生徒もいるとの情報があり、地域からの声を県に届ける必要があると考えている。普通科については募集停止の話は一切ない。

Q 令和8年度の入学生が増えれば、継続の可能性はあるのか。

A 継続の確約は持てないが、今年度の家政科の入学希望者数が10名を超えるよう努め、復活を実現したいと考えている。

Q 【委員会の意見】平館高校の存続に向けて、あらゆる手段を講じて取り組んでいただきたい。

A 部活動の地域移行が導入されて以降、教育委員会の立場から見ても、各中学校の教職員の働き方改革や負担軽減は、実際に目に見える形で進んでいるのか。

Q 全国的に地域展開がうまく進んでいない実情があり、現在も教職員が指導に当たっている実態である。そのため、負担軽減の段階には、まだ至っていないと認識している。

Q 【委員会の意見】教職員および地域の部活動指導員がしっかりと話し合いをしなから、公平かつ生徒に負担がかからないように対応を進めてほしい。



第3期県立高等学校再編計画の出前説明会

Q 新しい図書館の運営の在り方について、指定管理者と図書館協議会委員の方々がより密接に協議を行うことが今後の図書館運営にとって重要であると考えているか。

A 新しい施設となっても、図書館協議会は市が運営するものと考えている。委員の皆さまの声は市民の幅広い声でもあるため、しっかりと伺いながら、協力して事業を進めていきたいと考えている。

Q 図書館の円滑な運営には、小中高生や若者の利用促進が重要な鍵と考えるが。

A 若い世代が求める図書についても、検討していかなければならないと考えている。

Q 【委員会の意見】図書館協議会体制を充実させ、指定管理者任せにせず行政もしっかり関わって、関係者全体で定期的に協議や共有をしながら、図書の選定や運営を適切に行ってほしい。

Q 民生連絡員のなり手不足が課題であるが、今後の見通しを伺う。

A すぐに報酬を改定することは考えていないが、民生連絡員の業務が増えてきているため、報酬改定も検討していきたい。

Q 【委員会の意見】なり手不足の解消に向けて、報酬増額を含め待遇改善を進めてほしい。

A 敬老事業について、開催が難しい地区があると思うが、まとめてできないものか。

Q 自治会単位で開催しているが、隣接する自治会が共同体で開催しているところもある。自治会単位に限らず、まとまって開催していただくこともしている。

Q 【委員会の意見】敬老会の開催を自治会単位に限らず、共同開催が行えるよう支援に努め、みんなが参加する事業にしていきたい。



浅沢地域 敬老会の様子

Q 農の大地担い手育成支援事業は2千万円規模で数年続いているが、現在農業機械の価格は1.5倍になっている。今後の予算拡大の予定は。

A 3年に1回の事業であり、令和7年度が3年目である。8年度から再度の実施と併せて、要綱や金額の見直しを検討している。

Q 【委員会の意見】事業継続と予算拡大を要望する。

Q ツキノワグマの捕獲配分頭数が14頭で、捕獲頭数実績が11頭となっているが、増頭できないものか。駆除手順について、9月1日から法律の改善はあったのか。

A 岩手県の計画に基づいての捕獲許可となっている。捕獲増頭の要望をしていきたい。9月1日から緊急銃猟の制度が加わり、現場の判断を市町村が行うことになった。

Q いつ人的被害が出てもおかしくない。そもそも国や県が、住民の生命を置き去りにして保護に重点を置いていること自体が本末転倒である。場合によっては懸賞金などを懸けることも必要ではないか。懸賞金などを懸けた駆除は難しいと思われる。しかし、特例許可については要望していきたい。

A 【委員会の意見】行政の最大の責任と義務は、市民の生命財産を守ること。犠牲者が出てからでは遅く、強く国や県へ改善要望をすべきである。



市内(五日市)で目撃されたクマ

Q 今後の観光客誘致対策事業として、オーストラリアと台湾をターゲットとして進めていくということだが、展開を伺う。

A オーストラリアについては、ウインタースポーツに特化した形で行う。台湾については、インバウンド最大の市場なので、引き続き進めていく。

Q 【委員会の意見】海外観光客誘致を積極的に行っているが、各団体や近隣市と連携し、効果的な誘客に努めてほしい。

A 20%プレミアム商品券を発行する事業に至った経緯は。

Q 物価高騰の影響を受けた市内消費と商店街の売上を下支えすることが目的である。

A 【委員会の意見】物価高騰対策について、国に対してもっと積極的に支援するよう要望すべきである。また、市民に向けた具体的な支援をお願いしたい。

質問した事項

渡辺 義光 議員（市民クラブ）……………10
 ・姉妹都市・友好都市との交流の現状と課題について
 ・職員研修と人材育成事業の在り方について

羽沢 寿隆 議員（八起会）……………11
 ・移動式期日前投票所設置事業について
 ・有害鳥獣対策について

工藤 直道 議員（自由クラブ）……………12
 ・米騒動の影響と生産拡大について
 ・八幡平市交流複合施設（八幡平市立図書館）運営について

工藤 多弘 議員（松西会）……………12
 ・八幡平市交流複合施設について
 ・公共交通事業について

外山 一則 議員（八起会）……………13
 ・八幡平エリアの観光課題について
 ・第3次八幡平市総合計画と佐々木市政について

高橋 悦郎 議員（日本共産党）……………14
 ・農業問題について
 ・八幡平市交流複合施設の運営について

古川 津好 議員（松西会）……………14
 ・都市計画と道路整備について
 ・保育園、小中学校の統合について
 ・クマの被害対策について

齊藤 隆雄 議員（日本共産党）……………15
 ・ごみの減量化・資源化について
 ・ごみ処理広域化について
 ・除雪について

熊澤 博 議員（自由クラブ）……………16
 ・学童保育クラブ(放課後児童クラブ)の在り方について
 ・補聴器購入助成について

田村 正元 議員（八起会）……………16
 ・子育て支援と学校教育について
 ・防災、安全対策について
 ・観光振興対策と今後の振興計画について



わたなべ よしみつ
渡辺義光 議員



(市民クラブ)

姉妹・友好都市との交流 名護市・宮古市と絆強化



市民総参加で交流の輪を広げよう

問 当市の姉妹都市は宮古市、友好都市は沖縄県名護市、交流はタイ国タマサート大学と長年の友好・交流の文化がある。今後、市民レベルの交流を拡大し、物産販売、関係人口、ふるさと納税、移住対策に結び付くよう親交を強化しては。

市長 両市とは10月の山賊まつり出店や各種イベント、芸能団体の出演など約40年の相互交流があるが、内容が固定化され参加者が限定されるなどの課題がある。姉妹・友好都市提携40周年を記念し、両市と市民レベルの交流や支援を検討する。

問 江間章子さんの縁で始まった東京都世田谷区や安代りんどうが取り持つニュージーランドホロフェニア地区との交流は休眠状態である。交流解消したのか。

市民部長 2市との交流は疎遠状態である。総合的に調査し再開に向け努力する。

市長 職員一人一人の資質向上と能力開発を図り課題達成のために自ら考え実行する自律的な研修を実施中。研修で学んだ知識や経験を生かし職員による職員のための教育制度を拡充、強化する。3町村史を教材に郷土愛と当事者意識を育む。

自律的な職員研修



はざわ ひさたか
羽沢寿隆 議員



(八起会)

クマとの共存は不可能 国・県と連携していく



クマ食害の実態

問 今年はクマによる被害が特別である。毎日のように集落に出没し被害を繰り返しており、住民は大きな危険にさらされている。早急な対策が必要では。

市長 従来通りに猟友会などと連携を密にしてい。危険な仕事に従事する

市長 9月より緊急銃猟制度が開始される。またSNSアプリ「ベアーズ」でも目撃情報を発信している。市民の生命や安全が最優先、人的被害があつたら

移動期日前投票所 遠方集落に拡充を
問 バスによる期日前投票所の設置は利用者に非常に評判がいい。費用もさほど要しないので遠方の集落にもこまめに実施すべきでは。

選挙管理委員会委員長 バスの乗り入れの問題もある。検討が必要である。
問 入場券を「はがき」ではなく、世帯向けのチラシ入り封書にすれば、周知も徹底されるのではないか。



くどう なおみち
工藤直道 議員



(自由クラブ)

米農業再生を地方から

市としての方向性を国へ

問 肥料、生産資材、機械が高騰している。営農が続けられる生産者米価について考えを伺う。

市長 農業経営にとって大きな痛手となっている。適正な米価水準の維持・生産コストを踏まえた米価設定、生産基盤の充実、高品質米

のブランド化などが重要と考える。

問 国では、輸出米を推進し、新市場開拓米の生産者に107当たり4万円の補助がある。要件を伺う。

産業建設部長 対象作物の低コスト生産者に対し作付け面積に応じ交付される。

問 米農家の高齢化が進んでいる。規模拡大要件を満たせない農家にも継続できる支援事業を導入すべきではないか。

農林課長 今後は要件などを見直し、調査研究、事例を検討してまいりたい。

問 市として、基幹産業で



米価に期待し新米の収穫が本格化

図書館の集客は

問 図書館を大更中心地の活性化に導く考えを伺う。

市長 施設のさまざまな機能を横断的に利用していただき、交流がより一層図られ、にぎわいが生まれるものと考えている。



くどう たひろ
工藤多弘 議員



八幡平市交流複合施設

試算は行っていない



完成間近の八幡平市交流複合施設

問 市交流複合施設（8テラス）が完成して10年後、20年後の維持管理費は試算しているか。また、財源確保策についても伺う。

市長 10年後、20年後の財政負担の試算は行っていない。財源確保策としては、子育て支援エリアで活用可能な補助金の充当、施設利用料や賃料による事業収入の増加を目指す。また、ランニングコスト抑制のため、予備設計の段階から空調設備の省エネ化を検討してきた。指定管理者と協議し、コスト削減策を進め、持続可能な運営体制を確立する。

問 試算を行っていないことは、ランニングコスト抑制の検討と矛盾する。公共施設等総合管理計画とも整合性がないのではないか。

企画総務部長 財源確保策の詳細を検討中のため、明確な試算は示せない。市の基金や子育て支援への補助金などを活用し、今後、県と連携し、財源確保策が固まり次第説明する。

問 市内の団体が指定管理者となるよう検討したのか。

産業建設部長 指定管理者は市への移住も検討しており、市内での雇用も求めている。3年間の運営で、今後の在り方を検討する。



そとやかずのり
外山一則 議員



(八起会)

マナー条例の制定が必要

安心安全のため研究する

問 外国人の観光客や移住者が急激に増えていると感じる。今後増えるであろう外国人観光客から市民の安心安全を守るためにマナー条例の制定が必要では

産業建設部長 市民と観光客、お互いが快適に過ごせるように正しい情報の共有

啓発、そして、関係者間での協力体制の構築が重要なので、状況を注視しながら研究していく。

問 近年、八幡平大黒森付近でスノーモービルを楽しむ人が増えてきている。バックカントリーの人もいるので、衝突事故や雪崩の

リスクが高まっていると思うが、当局の見解は。

市長 衝突事故のリスクが高まっていることは認識している。スノーモービルの乗り入れは規制があるので、周知看板の設置を行っている。さらに利用者への注意喚起やマナー周知の方法に



長野県白馬村のマナー条例チラシ

ついて検討する。

第3次総合計画と佐々木市政の今後

問 令和8年度から始まる第3次総合計画に向けて佐々木市長の考え方は。

市長 次の任期に向け6つの重点公約を掲げている。



たかはし えつろう
高橋悦郎 議員
(日本共産党)



主食用米の作付け奨励を

理解するが農家の判断で

の経営状況を考慮して判断していただきたい。

新図書館について

問 現図書館運営では、20名ほどのボランティアの方たちが、読み聞かせ活動や館内の壁面装飾、本のクリニックなど、図書館活動を

担ってきた。新図書館でも引き続きボランティア活動に参加していただきたいと考えるが、活動を続けてほしいと要請がないと聞いた。また、現NPO法人の職員の雇用についても伺う。
教育次長 ボランティアの方々には引き続きお願いし

たい。情報が伝わっていないのであれば、事実関係を確認して全員に伝えたい。また、現図書館のNPO法人の職員については、これまで働いてきたノウハウは大変貴重である。現NPO職員を優先していただきたいと指定管理者に伝えたい。



コンバインでの刈り取り風景

問 八幡平市の主食用米の令和7年産米の作付け状況はどうなっているのか。
産業建設部長 令和7年産の生産目安は2098鈴だが、米価高騰を受け、前年より440鈴増えた。
問 農協は今年の仮払金、60万2万8000円で3年

間契約する内容である。8年産米に向けて、主食用米の作付けを市として奨励するべきではないか。
副市長 主食用米にシフトしてもらいたいのは当然である。しかし、個々の農業経営はいろいろな条件が違う。市としては、各農家が個々



ふるかわ つよし
古川津好 議員
(松西会)



どうする都市計画道路

マスタープランで見直し



解消したい、狭い道路との交差点

問 大更地内は、狭あいな道路や都市計画道路と整備された市道が近接している。計画路線上の人は、いつ計画が実行されるか、不安定な状況で生活している。過去に見直しをするとのことだったが、この都市計画道路はどうするか。

市長 今年から2年間かけて、都市計画マスタープランを見直す予定である。その中で交通動態や交通量の調査を行い、道路整備につなげてまいりたい。

小中学校の統合

問 広報7月号に掲載され

た市内の小中学校の生徒数を見ると、令和19年度の安代中学校の入学見込み者は4名の見通しである。この少子化が進む状況からすると、松尾地区だけではなく、西根・安代地区でも小学校の統合が必要ではないか。
教育長 中学校と松尾地区

の小学校の統合を進め、その後、西根の平館地区、大更地区についても統合の働きかけをしていきたい。

クマの被害対策

問 頻繁にクマが目撃され、子どもたちが襲われる事態が心配される。富山県南砺

市では、学校周辺に高周波発生装置を設置してクマ対策を行い、効果を上げている。当市でも学校・保育園周辺で検討すべきではないか。
教育次長 事例紹介があったまへ、状況を問い合わせて検討したい。



さいとう たかお
齊藤隆雄 議員
(日本共産党)



生ごみの減量・資源化を

全国の導入事例を参考に

広域化の規模は

問 ごみ処理の広域化に伴う事業費、市町費用負担および市民への情報開示は。

市長 令和14年度から稼働し、15年間の全体事業費は1045億円、本市の全体負担額は34億円と試算して

いる。市のホームページや盛岡広域環境組合が発行する「盛岡広域環境組合ニュース」の全戸配布などを通じて、随時情報発信を行っていききたい。

問 日処理量378tの施設規模における本市の推計値はどれくらいか。



瀬ノ沢ごみ集積場

市長 約20tになると見込んでいる。

除雪の支援が必要

問 高齢化や一人暮らしを考慮した、排雪までを含む支援が必要と考えるが。
市長 適時適切な排雪に努める。



くまざわ ひろし
熊澤 博 議員



(自由クラブ)

学童保育クラブの現状は

13施設に児童数482名



寺田学童保育クラブ

問 市内の学童保育クラブの数、学童数、支援員数は、**市長** 学童保育クラブ数は13、学童数は482名、支援員数は66名である。**問** 支援員の賃金や処遇改善については、国の「子ども・子育て支援対策交付金」などで支援されること

になっているが、実情について伺う。**健康こども課長** 指定管理者から、人件費の上昇を理由に、毎年市へ要望書が出されている。それを受け、市は指定管理料や受託料に上乗せして、変更契約を行っている。

問 市の子育て支援計画や報告書を踏まえ、学童保育についてどのように考えているか伺う。**市長** 児童の健全育成を図るため、安心・安全な遊びと生活の場を提供することは重要であり、保護者が安心して働ける環境を整える

うえでも、将来にわたって重要な施策であると認識している。**補聴器の購入助成** **問** 18歳未満の難聴児を対象に、県と市で3分の2を助成する補聴器購入助成事業の内容は。

市長 6年度は6件の申請があり、県と市が費用の3分の1ずつを助成した。**問** 18歳以上への補聴器購入助成に取り組む考えは。**市長** 認知症やうつ病などの観点からも、どのような支援が可能か、調査研究を進めてまいりたい。



たむらまさもと
田村正元 議員



(八起会)

小中学校統合の進捗状況

小学校は松尾地区を優先



統合先を予定している松野小学校

問 小学校の統合について、住民説明会も踏まえて進捗状況と今後の計画を伺う。**教育長** 松尾地区3校について、8月19日に市長、教育長、教育委員で統合方針を判断し、9年4月の統合校開校を目指す。西根地区は寺田と平舘、大更地区は

大更と平舘、田頭の3校を統合する形で進めていく。**問** 中学校の統合について、住民説明会も踏まえて進捗状況と今後の計画を伺う。**教育長** 8年1月に専門業者の調査結果も踏まえて、優先候補地案を示す。2月には優先候補地の判断、決

定をする方向で考えている。**問** 中学校統合後の部活動は、どう考えているのか。**教育指導課長** 現在ある部活は引き継ぐ方向となるが、学校での部活とならない種目も出てくる。来年度から一部の部活動が地域移行となり、合同での部活となる。

赤川河道掘削実施 **問** 市内の河川改修の維持管理で7年度に実施する土木伐採の内容について伺う。**建設課長** 米代川、鴨田川、長川、赤川などを実施する。赤川については、樺沢大橋上流から長川との合流地点

での立木撤去を実施する。**海外増、国内減** **問** 第4期観光振興計画の現状の成果進捗は。**産業建設部長** 海外は客数、消費額ともに伸びているが、国内は客数が減少している。国内の誘客強化を検討する。

議会の動き

(令和7年7月4日～10月7日)

7月

- ▶4日 第72回岩手地区議会議員大会研修会
- ▶8日 議会広聴広報常任委員会
- ▶10日 令和7年度盛岡広域8市町議会議長会会議
- ▶16日 知事を囲む懇談会
- ▶25日 岩手県後期高齢者医療広域連合監査（例月現金出納検査）、盛岡広域環境組合監査（例月現金出納検査）
- ▶28日 会派代表者会議
- ▶29日 宮城県色麻町議会視察来庁
- ▶31日 栃木県矢板市議会視察来庁

8月

- ▶8日 議員全員協議会、議会改革推進会議
- ▶18日 議会運営委員会
- ▶19日 八起会・市民クラブ合同視察研修（～21日）
- ▶25日 令和7年第3回定例会（～9月12日）、議会広聴広報常任委員会
- ▶26日 岩手県後期高齢者医療広域連合監査（例月現金出納検査）、盛岡広域環境組合監査（例月現金出納検査）
- ▶27日 産業民生常任委員会
- ▶28日 総務教育常任委員会
- ▶29日 決算特別委員会、総務教育常任委員会

9月

- ▶1日 分科会決算審査（総務教育分科会）（～2日）
- ▶3日 分科会決算審査（産業民生分科会）（～4日）
- ▶5日 決算特別委員会、議会運営委員会
- ▶8日 分科会決算審査（各分科会ごと）
- ▶10日 決算特別委員会、議会広聴広報常任委員会
- ▶12日 議員研修報告会、議会運営委員会
- ▶19日 議会広聴広報常任委員会
- ▶29日 岩手県後期高齢者医療広域連合監査（例月現金出納検査）、盛岡広域環境組合監査（例月現金出納検査）

10月

- ▶2日 議会運営委員会
- ▶6日 議会広聴広報常任委員会

議会広聴広報常任委員会

- 期日 令和7年9月10日
- 場所 議事堂委員会室
- 内容 「議員と語る会」の開催を検討



「議員と語る会」の開催場所・内容を検討

議員と語る会の内容と場所を検討

「議員と語る会」の開催について協議を行いました。今回の「議員と語る会」は、昨年度に引き続き「ギカイのひろばの内容で語ろう」をテーマとし、「ギカイのひろばNo.81号」に掲載されている内容をもとに、市民の皆さまと意見交換を行うこととなりました。開催日は、令和7年11月15日(土)、会場は田山コミュニティセンターが午後2時から、市役所は午前10時、午後2時、午後6時(計3回)に分けて開催し、皆さまが参加しやすい時間を選ぶよう調整いたしました。

総務教育常任委員会

- 期日 令和7年8月29日
- 場所 議事堂委員会室
- 内容 学校統合に係る教育委員会との意見交換



令和7年8月8日の議員全員協議会の様子

松尾地区の3小学校統合

8月8日の議員全員協議会で説明があった松尾地区の小学校統合を含む小中学校の統合について、教育委員会と総務教育常任委員会の意見交換会が行われました。教育委員会からは、第3期八幡平市小中学校適正配置計画に基づき、西根・松尾地区の3校の中学校を優先的に統合し、新設校を建設すると説明がありました。中学校の



教育委員会との意見交換会の様子

建設場所は調査結果をもとに決定することです。また、松尾地区の3小学校については2024年10月に「松尾地区小学校統合を推進する会」から117名分の署名入り要望書が提出されたことを受け、2027年4月の開校を目指し、松尾地区の3小学校を松野小学校に統合する計画であると説明がありました。委員からは部活動の継続や地域移行に課題があり、環境整備が必要との指摘もありました。今後も委員会の最優先事項として取り組みます。

会派視察研修

(八起会・市民クラブ)



辰野町トビチ商店街での研修風景

- 期日 令和7年8月19日・20日・21日
- 場所 長野県辰野町、白馬村、上田市
- 内容 商店街活性化と観光インバウンド対応条例、スポーツ合宿の先進地について、意見交換踏まえた現地視察

民間と行政が投資含めて協力

辰野町では、「トビチ商店街」で行われている地域活性化について、仕掛人である一般社団法人〇(まる)と編集社の赤羽様より、空き家を活用した不動産施策をはじめ、熱意あるご指導をいただき、新たな発想を学ぶことができました。白馬村では、独自に制定した条例とガイドラインを基盤に、増加するインバウンド観光客にも



菅平アリーナでの集合写真

対応する「持続可能な観光地経営に関する条例」について、副村長の吉田様から詳しく学ぶことができました。上田市では、スポーツツーリズムの先進地である菅平高原の「菅平サニアパーク」と「菅平アリーナ」を視察しました。夏はラグビーや陸上の合宿の聖地、冬はアルペンスキーの競技別強化拠点であり、当市の可能性について学ぶことができました。訪れた3市町村の取り組みを、今後の議会活動にしっかりと生かしてまいります。

次は 12月定例会 (予定) ※日程は変更になる場合があります。

期 日	内 容
12月4日(木)	議案上程 ほか
12月5日(金)	一般質問
12月6日(土)～7日(日)	休 会
12月8日(月)～9日(火)	一般質問
12月10日(水)	議案審議
12月11日(木)	休 会
12月12日(金)	委員長報告 ほか

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください。

開催時刻は一部を除き午前10時からです(終了時間は日によって異なります)。詳しくは、八幡平市議会のホームページをご確認ください。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、インターネット(YouTubeの八幡平市議会のチャンネル)で録画配信しています。

令和7年9月定例会の視聴回数は5,454回です。

6月定例会の視聴回数は2,090回でした。

(令和7年10月7日時点)

クイズ

問 ○の中には、どんな文字(数字)が入るでしょう？

合併後、旧3町村の議会議員○人によって、初の八幡平市議会が開催された。

- 応募方法 答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールでご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます)。
- ※お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。
- あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係 FAX: 0195-74-2105 E-mail: gikai@city.hachimantai.lg.jp
- 締め切り 令和7年12月5日(金)(当日消印有効)
- 前回(No.80)の正解 1(人)

応募者 11人 正解者11人



肥 満傾向の子どもが増えています。子どもたちが外遊びしたくなる環境を整えてください。(東・40歳女性)

学 校統合は、現代に即した方々を検討し、学校が単なる子どもの受け皿にとどまらないことを期待します。(石神2区・31歳男性)

コ ミュニティバスは、本数が少ないので、料金を値上げしても本数を増やしてほしい。(山崎・41歳男性)



クイズで寄せられた意見などを紹介します。

空 き家対策は進展しているのでしょうか。ギカイのひろばで特集してほしいです。(下町一区・73歳女性)

少 子化対策や他からの転入者を増やしていくための検討がされていないように見える。(山道・36歳男性)

議 員の政務活動費の調査研究費は、何にどれくらい使われているのか知りたいです。(駅前一区・46歳女性)

鳥 獣被害対策、特にクマに対する対策を早急に行ってください。ごみの放置監視や草刈りを徹底してほしいです。(中関・39歳男性)

コ ミュニティバスの小売化や広告の導入など何か工夫して運行を続けてほしいです。(山子沢・40歳女性)

議会のまど



たむら としお
田村 俊郎 さん
(西根寺田 77歳)

商工会の助けで
叶った店舗の夢

寺田で生まれ、大学を卒業後、4年ほどサラリーマンとして勤めました。結婚し、家業の魚店を手伝い、12年後には商工会の経営指導員のお世話で田村ストアを開業することができました。平成には弟と共に移動販売を始め、フーガの広場の土曜市や寺田コミセン祭りでのマグロ解体ショーなど、地域住民との楽しい商売を心がけてきました。また、市場に仕入れに出かけることで友人もたくさんでき、御祝いや法事の仕出しの仕事もいただき、感謝しています。これからも人情を大切に努力しますので、よろしくお願いします。

◆編集後記◆

議会広聴広報常任委員会では、「議会目線から住民目線の広報」を目指し、毎号話し合いを重ね、限られた紙面に多くの内容を盛り込めるよう検討しています。紙面だけでは議会の全てをお伝えすることに限界がありますので、不足する部分は録画映像(YouTube)などをご視聴いただければ幸いです。今後も紙面の充実に、引き続き取り組んでまいります。

副委員長 齊藤 隆雄

保育所紹介



保護者会副会長

くどう ゆみこ
工藤 由美子 さん

柏 台保育所は、0歳児から年長児まで15人と少ない人数ですが、みんな元気いっぱいです。年齢関係なく、みんなで走り回ったり、ごっこ遊びをしたり、仲良く遊んでいます。行事の中でも運動会は、地域の皆さんにも楽しみにしていただき、多くの応援で盛り上がりました。また、岩手山の麓で、四季の景色を間近で感じて楽しめる所が柏台保育所のおすすめです。